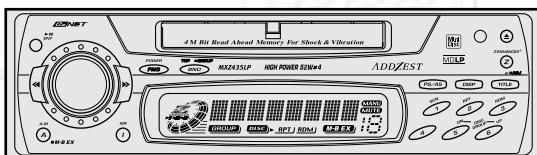
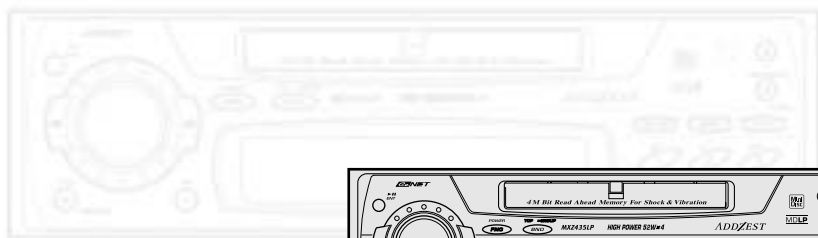


ADD/EST

MDセンターユニット

MXZ435LP

取扱説明書



ceNET



MDLP

このたびは、アゼスト商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

- 安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 保証書（別添）はお買い求めの販売店で記入いたしますので、内容をよくご確認のうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この取扱説明書には、本機で操作するCD/MDチェンジャー、TVチューナーの操作説明も含まれています。CD/MDチェンジャー、TVチューナーの取扱説明書には、操作説明は記載されておりません。

目次

はじめに

主な特長	5
ご使用の前に	6
安全に正しくお使いいただくために	6
安全上のご注意	7
取扱上のご注意	9
本体のお手入れについて	9
液晶画面について	9
エラー表示について	9
MDについて	9

本機の操作

■各部の名称とはたらき

本体部	10
ディスプレイ表示	12
システムチェックと電源ON/OFF時のディスプレイ表示	13
各種設定/調整時のディスプレイ表示	14
別販リモコン(RCB-158)の使いかた	16

■基本の操作

電源を入れる	18
音量を調節する	18
モードを選ぶ	18
時刻を合わせる	19
表示を切り換える	20
音質を簡単に設定する(Z-エンハンサープラス機能)	21
音質を調整する	21
バランス/フェダーを調整する	22
マグナバスEX効果をON/OFFする	22

■ラジオを聴く

ラジオモードを選ぶ	23
受信バンドを切り換える	23
手動選局する(マニュアル選局)	23
自動選局する(シーク選局)	23
プリセット選局する	24
プリセットメモリーする	24
自動メモリーする(オートストア機能)	25
放送局を確かめる(プリセットスキャン)	25
特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)	26
ISRにメモリーする	26

■MDを聴く 27

MDを入れる	27
MDを取り出す	27
すでに入っているMDを聴く	27
曲を選ぶ	28
演奏を止める(一時停止)	28
早送り/早戻しする	28
最初の曲から聴く(トップ機能)	28
1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)	29
ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)	29
聴きたい曲を探す(スキャン演奏)	29
MDのタイトルをスクロールさせる	29
MDのタイトル表示を切り換える	29

■MDLPを聴く 30

グループ機能をON/OFFする	30
MDLPを演奏する	30
グループを切り換える	31
聴きたいグループを探す(グループスキャン演奏)	31
1つのグループを繰り返し聴く(グループリピート演奏)	31
全グループの演奏をランダムに聴く (グループランダム演奏)	31

■設定を変更する(アジャストモード) 32

設定項目を選ぶ	32
ボタン操作時のビーブ音を設定する(BEEP)	33
タイトルスクロール方法を設定する(SCROLL)	33
携帯用オーディオの入力レベルを設定する(AUX SENS)	34
TV受信時の主音声/副音声を設定する(MAIN/SUB)	34
チューナーエリアを設定する(TUN AREA)	35
TVエリアを設定する(TV AREA)	36
TVダイバーシティを設定する(TV DIVER)	37
スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)	37
メッセージを入力する(INPUT)	38

■タイトルをつける 39

タイトルを入力する	39
タイトルを削除する	41

次ページに続く➤

目次

外部機器の操作

■CD/MD/DVDチェンジャーを操作する

チェンジャーモードを選ぶ	42
聴きたいディスクを選ぶ	43
曲を選ぶ	43
早送り/早戻しする	43
演奏を止める(一時停止する)	43
最初の曲から聴く(トップ機能)	43
聴きたい曲を探す(スキャン演奏)	44
聴きたいディスクを探す(ディスクスキャン演奏)	44
1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)	45
1枚のディスクを繰り返し聴く(ディスクリピート演奏)	45
ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)	45
全ディスクの演奏をランダムに聴く (ディスクランダム演奏)	45

■TVを見る

TVモードを選ぶ	46
受信バンドを切り換える	46
自動選局する(シーク選局)	46
手動選局する(マニュアル選局)	47
プリセット選局する	47
プリセットメモリーする	47
自動メモリーする(オートストア機能)	47
放送を確かめる(プリセットスキャン)	48
ステレオ/モノラル音声を切り換える	49
ビデオを見る	49

■その他の外部機器を操作する

携帯用オーディオを聴く(AUXモード)	50
---------------------------	----

その他

システムアップについて	51
CeNETケーブルについて	52
故障と思われる前に	53
エラー表示について	54
仕 様	55
アフターサービスについて	56

主な特長

本機は、AM/FMラジオとMDデッキを一体にし、別販のDVDチェンジャー、CDチェンジャー、MDチェンジャーまたはTVチューナーを接続してコントロールできるCeNET結線対応の1DINセンタユニットです。

■MDLP再生機能 MDLP

- 本機は、2倍モードで160分、4倍モードで320分もの連続再生ができる(80分MD使用時)MDLP機能を搭載
- MDLPグループ機能で編集されたMDを、グループ単位で行うスキャン/リピート/ランダム演奏機能

■Z-エンハンサープラス機能

- 3種類の音質効果メモリー<バスブースト(B BOOST)、インパクト(IMPACT)、エキサイト(EXCITE)>と、低音および高音をお好きなレベルに調整して保存できるメモリー(CUSTOM)を備えた音質設定機能

■マグナバスEX機能

- 重低音域をコントロールする音質調整機能

■DVDチェンジャーコントロール(別販品接続時)

- DVD/ビデオCD/CD/MP3再生対応
- チャプター送り、戻しなど、主な操作をコントロール
※詳細機能についてはDVDチェンジャーに付属のリモコンでコントロール

■52W×4chハイパワーアンプ内蔵

- 最大出力52W×4chの高音質型ハイパワーアンプを内蔵

■タイトル入力機能

- ラジオ、TVの放送局やCDにタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させるタイトル機能
- MDのディスク名または曲名を表示させるタイトル機能

■ラジオ部

- チューナーエリアを選択するだけで、自動的に放送局名を表示することができるエリアセレクト機能
- 聴きたい放送局を、どのモードからでもすぐに選局できるISR機能

- プリセットが簡単なオートストア機能で、FM12局、AM12局をメモリー
- メモリーした放送局を順番に受信するプリセットスキャン機能

■MDデッキ部

- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能
- 曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能
- 曲を順不同に演奏するランダム機能

■**CeNET** 結線対応(Clarion Entertainment Network : シーイーネット)

- 外部機器との結線に**CeNET**方式を採用。これにより、複数の外部機器接続時の中継BOXが不要になりました。
- DVDチェンジャーやCDチェンジャーあるいはMDチェンジャーを合計2台まで接続および操作できるチェンジャーコントロール機能

■CD/MDチェンジャーコントロール(別販品接続時)

- 60枚分のCDタイトルインプット機能
- スキャン機能/ディスクスキャン機能/リピート機能/ディスクリピート機能/ランダム機能/ディスクランダム機能を装備

■TVチューナーコントロール(別販品接続時)

- TVエリアを選択するだけで、自動的に放送局名を表示することができるエリアセレクト機能
- 30局の放送局名インプット機能
- TV12局のプリセットが簡単なオートストア機能
- メモリーした放送局を、順に受信するプリセットスキャン機能

ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告


この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意


この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



 記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中などには具体的な注意内容(左図の場合は指はさまれ注意)が描かれています。



 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中などには具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

- 安全のため、ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとはいつでも見られる所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

安全上のご注意

■使用上のご注意

⚠ 警告

●走行中は運転者による操作をしない…

運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。



●本機を分解したり、改造しない…

事故や火災、感電の原因となります。



●ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談してください。



●万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談する…
そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。



●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



●本機の取り付け及び取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご依頼する…
専門技術と経験が必要です。



■ ご使用の前に

⚠ 注 意

● 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となる事があります。



● ディスク挿入口に手や指を入れない…

ケガの原因となることがあります。



● ディスク挿入口に異物を入れない…

火災や感電の原因となることがあります。



● 本機を車載用以外には使用しない…

感電やケガの原因となることがあります。



● 樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない…

部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。



● 電源を切るときは、音量を最小にする…

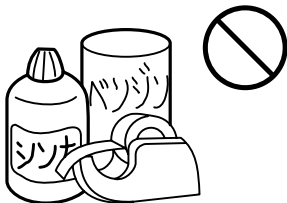
電源ON時に突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



取扱上のご注意

本体のお手入れについて

- 本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



⚠ 注意

樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障し、火災などの原因となることがあります。

自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

液晶画面について

- 非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 液晶画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

エラー表示について

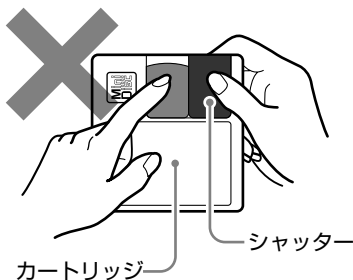
本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。エラー表示はセンターユニットのディスプレイに表示されます。ディスプレイにエラーが表示されたときには、センターユニットの取扱説明書「エラー表示について」(54 ページ)を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

MDについて

 マークのついたMDをご使用ください。

■ 取り扱い上のご注意

- 直射日光が当たる場所や、温度・湿度の高い場所には保管しないでください。
- MDのシャッターを手で開けないでください。



- ラベルのはがれかけているMDは使用しないでください。そのままMDプレイヤーに入れると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

■ お手入れ

- カートリッジの表面についたホコリやゴミは、乾いたやわらかい布でふきとってください。

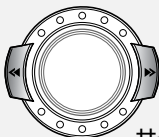
各部の名称とはたらき

本体部



プレイ/ポーズボタン

- MDモードやチェンジャーモード時は、演奏の一時停止をします。また、各種設定の決定をします。
- 音量を一時的に消音します。



サーチボタン(◀▶)

- ラジオ/TVモード時は選局に使います。
- MDモード時やチェンジャーモード時には選曲に使います。押し続けると早送り/早戻しを行います。
- 各種設定時にも使用します。



ロータリーボリューム

- 時計方向または反時計方向に回して、音量を調整します。
- 音質/バランス/フェダーを調整します。
- アジャストモード時には、各種設定に使います。



ファンクションボタン

- 電源を入れ、各モードに切り換えます。電源を切るときは約1秒間押し続けます。

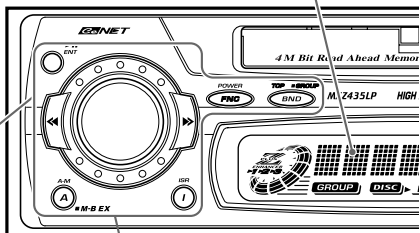


バンドボタン

- ラジオ/TVモード時は、バンドを切り換えます。また、約1秒間押し続けて自動選局が手動選局に切り換えます。
- MDモード時は最初の曲を演奏します。(トップ機能)

ディスプレイ部

選局/演奏状態の各情報を表示します。



バンドボタン

- MDLP再生時は、押し続けるたびにグループ機能をON/OFFします。
- また、グループ機能ONのときにはグループの最初の曲を演奏します。
- 12枚CDチェンジャー時は約1秒間押し続けてマガジンを切り換えます。



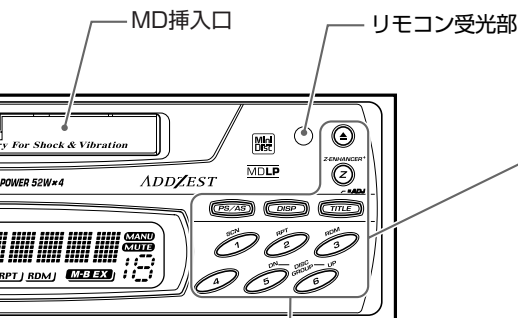
オーディオモードボタン

- 音質とバランス/フェダーを調整します。
- 押し続けるとマグナバスEX機能をON/OFFします。このマグナバスEX機能は重低音を強調します。



ISRボタン

- 現在のモードにかかわらず、よくお聴きになるラジオ局をすぐに呼出します。(ISR機能)



イジェクトボタン

- MDが入っているときに押すと、MDをイジェクトします。

Z-ENHANCER*



Zエンハンサーボタン

- Zエンハンサープラス機能の設定を切り換えます。

この機能は、3種類の音質効果メモリーと低音および高音のレベルを調整して保存できるメモリーを備えています。



プリセットスキャンボタン

- ラジオ/TVモード時に、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。



ディスプレイボタン

- ディスプレイ表示を切り換えます。
- タイトル表示のときに約1秒間押し続けると、ユーザータイトル/ディスクタイトル表示等を切り換えます。



タイトルボタン

- ラジオ/TV局の名称や、CDチェンジャーモード時のディスクタイトルの入力/削除、MDモードやMDチェンジャーモード時のタイトルスクロールなどに使います。
- 押し続けて各種の設定や調整をするときに使います。



ダイレクトボタン

- ラジオ/TVモード時には、放送局をメモリーして直接呼出します。



スキャンボタン

- MDモード、チェンジャーモード時に、約10秒間ずつスキャン演奏します。



リピートボタン

- MDモード、チェンジャーモード時に、繰り返し演奏します。



ランダムボタン

- MDモード、チェンジャーモード時にランダム演奏をします。



ディスク選択ボタン

- チェンジャーモード時にディスクを切り換えます。
- MDモード時にMDLPのグループを切り換えます。

各部の名称とはたらき

ディスプレイ表示

ラジオモード時	: F1 79.50	(FM受信バンド、周波数表示)
	: NACK 5	(チューナーエリア設定時の受信放送局名表示)
MDモード時	: 01 00:01	(演奏トラック番号、演奏時間表示)
	: NO TITL	(ディスクタイトル未設定のときに表示)
	: NO TITL	(トラックタイトル未設定のときに表示)
	: NO TITL	(MDLPのグループタイトル未設定のときに表示)
チェンジャーモード時		
	: 01 00:01	(演奏トラック番号、演奏時間表示)
	•	CDテキスト対応チェンジャー接続時の表示
	: NO-TTL	(通常のCDのユーザータイトル未設定のとき)
	: NO-TTL	(CDテキストのディスクタイトル未設定のとき)
	: NO-TTL	(CDテキストのトラックタイトル未設定のとき)
	: NO-TTL	(CDテキストのアーティストタイトル未設定のとき)
	•	CDテキスト未対応チェンジャー接続時
	: NO TITLE	(ユーザータイトル未設定のときに表示)
TVモード時	: TV1 1CH	(受信バンド、チャンネル表示)
	: NHK	(TVエリア設定時の受信チャンネル名表示)
各モード共通	: PM 3:15	(時計表示)

MANU : マニュアル選局時に点灯(ラジオ/TVモード時)

MUTE : 消音(ミュート)すると点灯



: ラジオ/TVモード時にプリセットNo.を表示

チェンジャーモード時には演奏中のディスクNo.を表示



Zエンハンサープラス
機能設定時に点灯

GROUP : MDLPでグループ機能ONのときに点灯

DISC : ディスクスキャン/ディスクリピート/ディスクランダム演奏のときに点灯 (チェンジャーモード時)

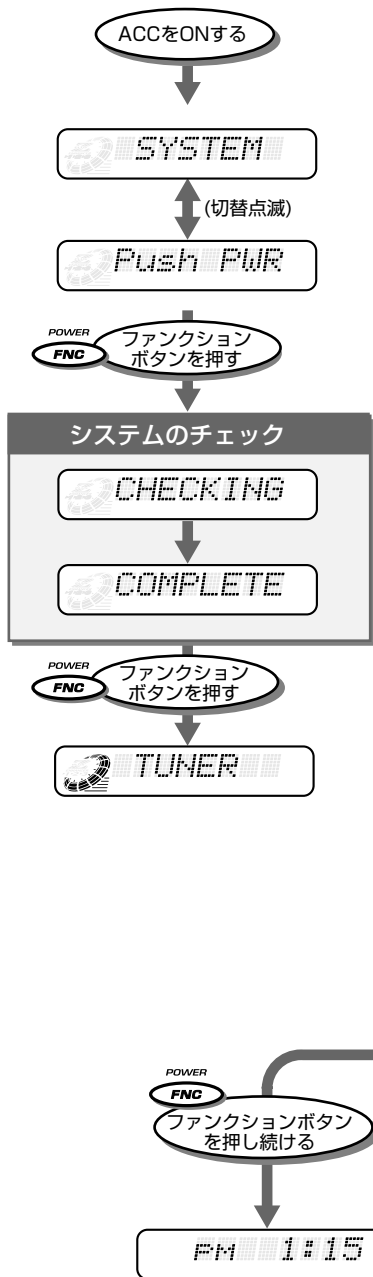
MDLPのグループリピート/グループランダム演奏時に点灯

RPT : MDモード、チェンジャーモード時のリピート演奏のときに点灯

RDM : MDモード、チェンジャーモード時のランダム演奏のときに点灯

M-B EX : マグナバスEX機能がONのときに点灯

システムチェックと電源ON/OFF時のディスプレイ表示



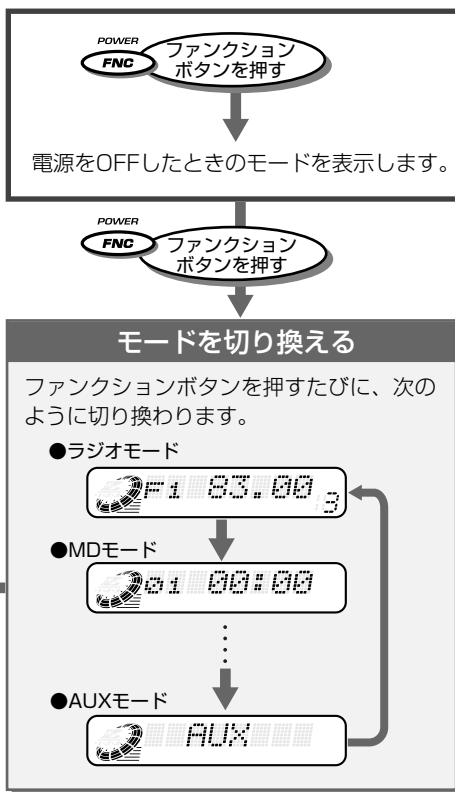
システムチェックについて

本機のCeNET方式はシステムチェック機能を採用しています。

ディスプレイのシステムチェック表示は次のようなときに表示されます。そのときはファンクションボタンを2回押して通常モードに戻してください。

- 本機の取り付け直後に電源を入れたとき
- 外部機器を接続または取り外したとき
- バッテリー交換等で電源が切れたとき
- リセットボタンを押したとき

本機の操作



各部の名称とはたらき

各種設定/調整時のディスプレイ表示

音質/バランス/フェダーを調整する

オーディオモードボタンを押して調整項目を選び、ロータリーボリュームを回してレベルを調整します。
(音質調整はZエンハンサープラス機能が"CUSTOM"のときに設定できます。)



(21~22ページ)

重低音を強調する(マグナバスEX機能)



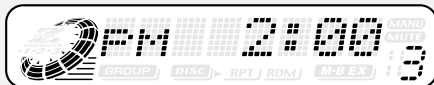
(22ページ)

表示を切り換える

●タイトル表示



●時計表示



(20ページ)

●スクリーンセーバー

スクリーンセーバー機能が「SS」または「MESSAGE」に設定されているときは、メイン表示等を30秒間表示した後、設定されているスクリーンセーバーパターンを表示します。



(37ページ)

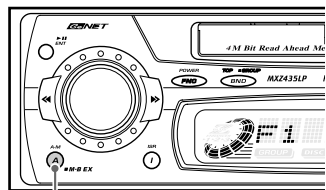


オーディオモード
ボタンを押す



オーディオモード
ボタンを押し続ける
(約1秒間)

(ラジオモード時の周波数表示)



オーディオモードボタン

DISP

ディスプレイ
ボタンを押す



各部の名称とはたらき

別販リモコン(RCB-158)の使いかた

モードを選ぶ

ファンクションボタン

- 電源が入ります。また、押すたびにモードが切り換わります。
ラジオ→MD→(CDチェンジャー)→(MDチェンジャー)
└─AUX←(TV)←(DVDチェンジャー)─┘
- 押し続ける(1秒間)と、電源が切れます。

音量を調節する

▲▼(ボリューム)ボタン

最初の曲から演奏する/バンドを切り換える

バンドボタン

- 最初の曲から演奏します。(MDモード時)
- 受信バンドを切り換えます。(ラジオ/TVモード時)

次のディスクを演奏する

バンドボタン

- 次のディスクを演奏します。(チェンジャーモード時)

音を消す

ミュートボタン

- ミュート(消音)機能をON/OFFします。
(ラジオ/TVモード時)

ISRメモリーを呼出す

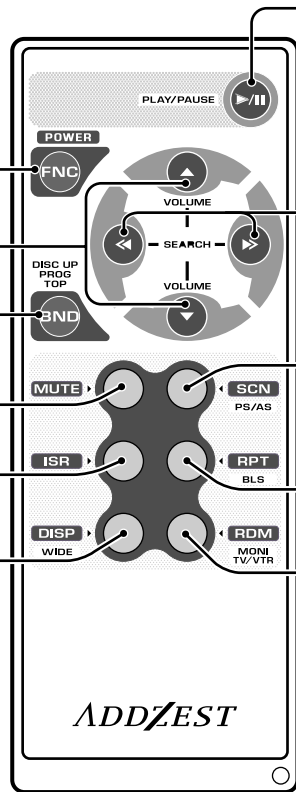
ISRボタン

- ISRにすぐ聴きたい放送局をメモリーするには、ISRボタンを押し続けます(約2秒間)。
- 元のモードに戻すには、もう1度ISRボタンを押します。

表示を切り換える

ディスプレイボタン

- ディスプレイ表示を切り換えます。
- MDモードにおけるタイトル表示のときに押し続けると、ディスクタイトル/トラックタイトル等のタイトル表示を切り換えます。



演奏する

▶/II(プレイ・ポーズ)ボタン

- 演奏と一時停止をします。
(MDモード、チェンジャーモード時)

選曲する/選局する

◀ ▶サーチボタン

- 押した回数だけ先の曲、または前の曲を演奏します。押し続ける(約1秒間)と、早送り/早戻しをします。(MDモード、チェンジャーモード時)
- プリセットチャンネルをアップ/ダウンします。
(ラジオ/TVモード時)

曲を探す/放送局をプリセットする

スキャンボタン

- スキャン演奏します。
(MDモード、チェンジャーモード時)
- 押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクの1曲目をディスクスキャン演奏します。(チェンジャーモード時)
- プリセットした放送局を確かめられます。(プリセットスキャン、ラジオ/TVモード時)
- また、押し続ける(約2秒間)と放送局を自動的にメモリーします。(オートストア、ラジオ/TVモード時)
- 解除するときは、もう1度スキャンボタンを押します。

繰り返し演奏する

リピートボタン

- 繰り返し演奏します。
(MDモード、チェンジャーモード時)
- 押し続ける(約1秒間)と、ディスクの繰り返し演奏をします。(チェンジャーモード時)
- 解除するときは、もう1度リピートボタンを押します。

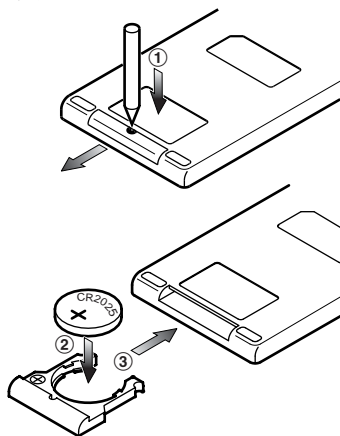
ランダム演奏する

ランダムボタン

- ランダム演奏します。
(MDモード、チェンジャーモード時)
- 押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクをランダムに演奏します。(チェンジャーモード時)
- 解除するときは、もう1度ランダムボタンを押します。

■ 電池の入れかた

- ①リモコンを裏返して、先のとがった物を矢印の方向に押しながら、ふたを引き出します。
- ②付属の電池(CR2025)を図のような向きにして入れます。
- ③「カチッ」と音がするまで、ふたを押し込みます。



⚠ 警告

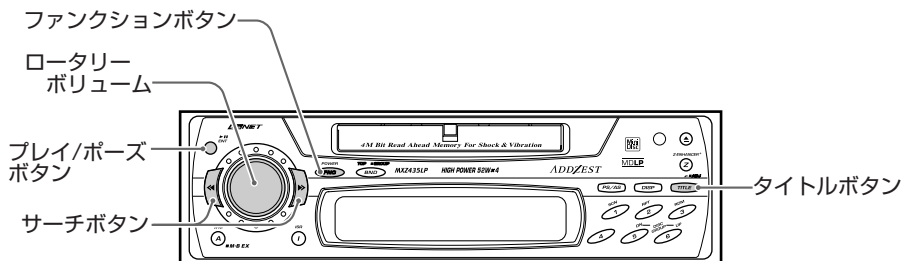
事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠ 注意

使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、ケガや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。

- 指定電池以外は使用しない。
- 電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
- 電池を加熱したり、火や水の中に入れない。また、分解しない。
- 使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。

基本の操作



電源を入れる

1 ファンクションボタンを押す



→ 前回の電源を切ったときのモードで電源が入ります。

ご注意

- ・バッテリーあがり防止のため、本機の場合は、できるだけエンジンをかけた状態で行ってください。
- ・システムチェック画面(**SYSTEM**)が表示されたときは、ファンクションボタンを2回押してください。詳しくは13ページをご覧ください。

■電源を切るには

ファンクションボタンを押し続ける(約1秒間)

→ 電源が切れ、時計表示になります。



- ・音量が大きいときは、小さくしてから電源を切ってください。

音量を調節する

1 ロータリーボリュームを回す



→ 時計方向に回すと大きくなり、反時計方向に回すと小さくなります。調整値(「**VOL 13**」等)を表示します。



注意

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

モードを選ぶ

1 ファンクションボタンを押す



→ ファンクションボタンを押すたびに、次のように切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません。)

ラジオ → MD → (CDチェンジャー) → (MDチェンジャー)

↑ AUX → (TV) → (DVDチェンジャー) ↓

- ・C D が入っていないときは「**NO DISC**」、CDチェンジャーにマガジンが入っていないときには、「**NO MAG**」を表示します。

時刻を合わせる

時計表示について…

本機は、車のエンジン作動時(ACC ON 時)に時計を表示します。

時計は12時間表示です。

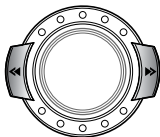
- ナビゲーション接続時は時刻データがナビゲーションから送られてくるため時刻の調整はできません。

1 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイに前回の調整項目(「BEEP」等)を表示します。

2 サーチボタンの◀または▶を押して、「CLOCK E」を選ぶ



3 プレイ/ポーズボタンを押す

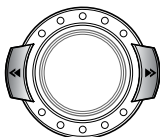


→調整時点(「PM 2:20」等)の時刻を表示し、時刻設定モードになります。



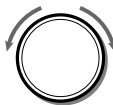
- 時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。

4 サーチボタンの◀または▶を押して、時または分を選ぶ



→点滅している項目が調整できます。

5 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、時刻を合わせる



6 プレイ/ポーズボタンを押す



→ビープ音が「ピー」と鳴って、時刻が設定されます。

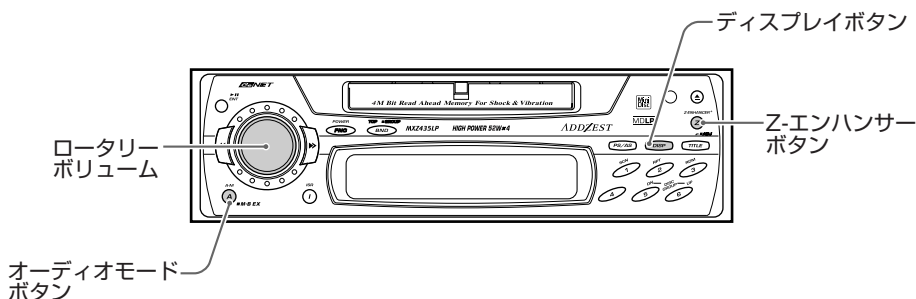
ご注意

- 電源OFF状態での時間表示のときは、時計を設定することはできません。
- 点検や修理などでバッテリーを外したときには、もう1度、時刻合わせをしてください。

7 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



■ 基本の操作



表示を切り換える

1 ディスプレイボタンを押す



→ディスプレイボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

スクリーンセーバーについて…

スクリーンセーバー機能が「**SS**」または「**MESSAGE**」に設定されているときは、選局等の操作時にタイトルまたは時刻を一定時間表示した後、設定されているスクリーンセーバーパターンを表示します。設定のしかたは37ページをご覧ください。

メイン表示

●ラジオモード

F1 79.50

●MDモード、チェンジャーモード

01 00:01

タイトル表示

●ラジオモード

NACK 5

※ラジオ/TV/CDチェンジャーモードの場合にユーザータイトルを設定できます。
設定のしかたは「タイトルをつける」(39ページ)をご覧ください。

●MDモード、チェンジャーモード時の表示例

ユーザータイトル
(CD)

ディスクタイトル
(MD,CDテキスト)

ディスプレイボタンを
押し続ける(約1秒間)

トラックタイトル
(MD,CDテキスト)

アーティスト名
(CDテキスト)

時計表示

FM 2:00

選局/選曲等の
ボタンを押す

メイン表示を約4秒間表示
F1 79.50
(ラジオモード時の表示例)

音質を簡単に設定する (Z-エンハンサープラス機能)

Z-エンハンサープラス機能について…

本機は、3種類の音質効果メモリー(B BOOST, IMPACT, EXCITE)と、低音および高音をお好きなレベルに調整して保存できるメモリー(CUSTOM)を内蔵しています。お好みの音質を設定してお楽しみください。

- **B BOOST** : 低音を重視したサウンド
 - **IMPACT** : 高音を重視したサウンド
 - **EXCITE** : 低音と高音を重視したサウンド
 - **CUSTOM** : 低音と高音をお好みのレベルに調整し保存できます。
 - **Z+ OFF** : 音響効果はありません。
- ※初期設定は「Z+ OFF」です。

1 Z-エンハンサーボタンを押す



→ディスプレイのZ-エンハンサープラスインジケータが点灯します。

2 Z-エンハンサーボタンを押して、お好みの音質を選ぶ



→Z-エンハンサーボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



- 「**B BOOST**」, 「**IMPACT**」あるいは「**EXCITE**」の音質を調整するには、機能選択後にオーディオモードボタンを押すと、ロータリーボリュームで-3~+3の範囲で調整することができます。
- 「**B BOOST**」, 「**IMPACT**」あるいは「**EXCITE**」以外の効果を得たいときは、「**CUSTOM**」を選択した後、次項の「音質を調整する」の手順で調整してください。

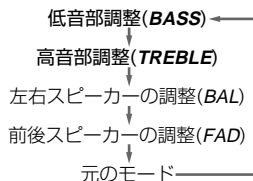
音質を調整する

この機能はZ-エンハンサープラス機能が「**CUSTOM**」のときに調整できます。

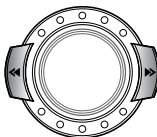
1 オーディオモードボタンを押して、音質調整(**BASS**または**TREBLE**)を選ぶ



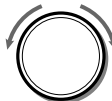
→「**B** ◀ 0 ▶」を表示して、音質等調整モードになります。オーディオモードボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



2 サーチボタンの◀または▶を押して、調整内容(G: ゲイン、F: 周波数、Q)を選ぶ



3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、調整する

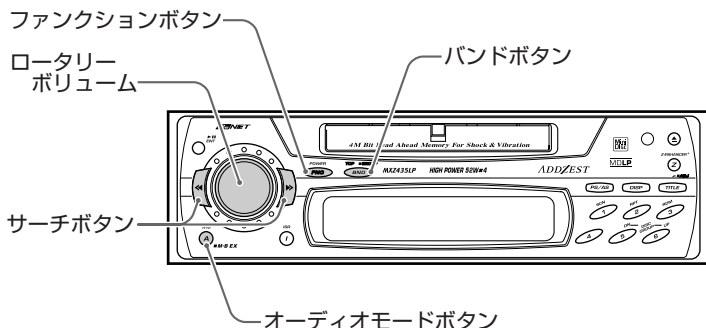


- 低音部(**BASS**)の調整範囲
ゲイン(G) : -6~+6
ローパス周波数(F) : 60/100/200
キュー(Q) : 1/1.25/1.5/2
- 高音部(**TREBLE**)の調整範囲
ゲイン : -6~+6
ハイパス周波数(F) : 10k/15k

4 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻す



■ 基本の操作

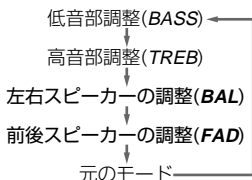


バランス/フェダーを調整する

- 1 オーディオモードボタンを押して、バランス(**BAL**) またはフェダー(**FAD**)を選ぶ



→「**BASS 0**」等を表示して、音質等調整モードになります。オーディオモードボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



- 2 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して調整する

●左右スピーカーの調整(**BAL**)



- 調整範囲は、L13～R13です。

●前後スピーカーの調整(**FAD**)



- 調整範囲は、F12～R12です。

- 3 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻す



マグナバスEX効果をON/OFFする

マグナバスEXについて…

この機能は重低音を強調します。

- 1 オーディオモードボタンを押し続ける(約1秒間)



→オーディオモードボタンを押し続ける(約1秒間)たびに、ON/OFFが切り換わります。

マグナバスEX効果がONに設定されると、「**M-B EX**」が点灯します。

ラジオを聴く

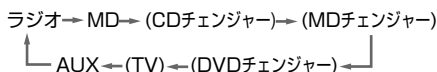
ラジオモードを選ぶ

1 ファンクションボタンを押す



→ディスプレイに受信バンドと、周波数（「F1 79.50」等）を表示します。

ファンクションボタンを押すたびに、モードが次のように切り換わります。（接続していない機器のモードは表示しません）

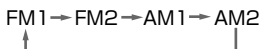


受信バンドを切り換える

1 バンドボタンを押して、FM1、FM2 またはAM1、AM2を選ぶ



→バンドボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



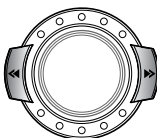
手動選局する(マニュアル選局)

1 「MANU」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける（約1秒間）



→ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局です。

2 サーチボタンの◀または▶を押して、放送のあるところに合わせる



→手動選局には、ステップ選局とクイック選局があります。

ステップ選局のときは、サーチボタンの▶または◀を押すと、周波数が1ステップずつ切り換わります。

クイック選局のときは、サーチボタンの▶または◀を押し続けると、周波数が連続して切り換わり、お好みの周波数に合わせることができます。

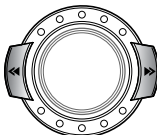
自動選局する(シーク選局)

1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける（約1秒間）



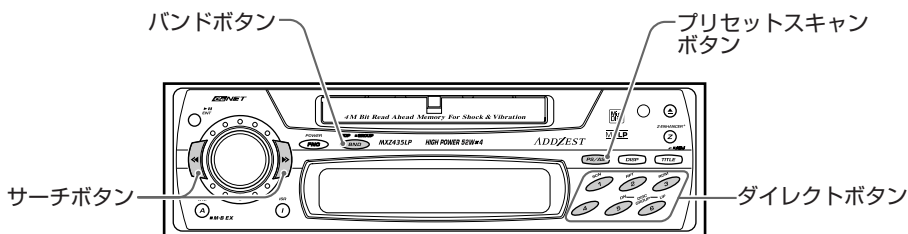
→ディスプレイの「MANU」が消灯しているときは、自動選局です。

2 サーチボタンの◀または▶を押す



→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

ラジオを聴く



プリセット選局する

プリセット選局について…

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

1 バンドボタンを押して、バンドを選ぶ



2 ダイレクトボタン(1～6)を押して、聴きたい放送局を選ぶ



- ダイレクトボタンにメモリーするとき
は、次項の「プリセットメモリーする」
をご覧ください。

プリセットメモリーする

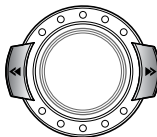
プリセットメモリーについて…

プリセットメモリーできるのは、
FM1、FM2、AM1、AM2の各バンド
ごとに6局ずつ、計24局です。

1 バンドボタンを押して、メモリーしたいバンド(FM1、FM2またはAM1、AM2)を選ぶ



2 サーチボタンの◀または▶を押して、メモリーしたい放送局を選ぶ



3 メモリーさせたいダイレクトボタン(1～6)を押し続ける(約2秒間)



→メモリーされると、ディスプレイのプリ
セットNo.(3 等)が点灯します。

自動メモリーする(オートストア機能)

オートストア機能について…

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

- 1 バンドボタンを押して、メモリーさせたいバンド(FM1、FM2またはAM1、AM2)を選ぶ



- 2 プリセットスキャンボタンを押し続ける(約2秒間)



→受信電波の強い放送局が、自動的にダイレクトボタン(1～6)にメモリーされます。

ご注意

- 自動メモリーすると、それまでのメモリー内容は消去されます。
- 自動メモリーは、プリセット6局のメモリーが完了するまで、順にメモリーしていきます。
- メモリーできる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻ってからメモリーします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、メモリーされなかったダイレクトボタンには、それまでのメモリーが残ります。
- すでにメモリーしている放送局を、別のダイレクトボタンにメモリーすることはありません。

放送局を確かめる(プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて…

プリセットスキャンは、ダイレクトボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。

- 1 プリセットスキャンボタンを押す



→プリセットスキャン動作中のプリセットNo.が点灯します。

メモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

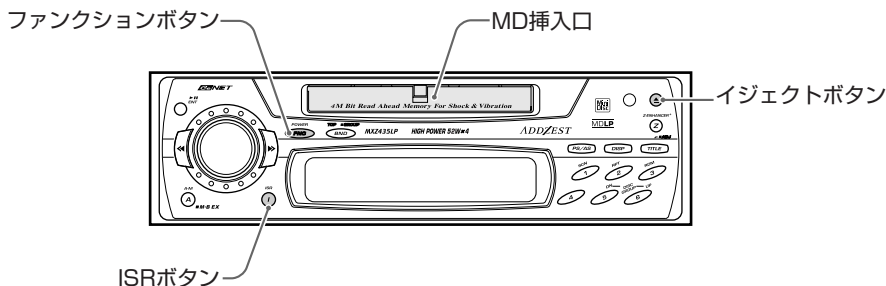
- スキャンボタンを押し続けると(約2秒間)、オートストア機能になります。ご注意ください。

■プリセットスキャンを解除するには…

もう1度、プリセットスキャンボタンを押してください。

→ボタンを押したときに受信していた放送局を受信します。

■ ラジオを聴く



特定の放送局をすぐに選局する (ISR機能)

ISR (Instant Station Recall) 機能について…

どのモードからでもすぐに特定のラジオ放送1局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聴きたい情報をすばやく選局できます。

※工場出荷時にはAM 1,620kHz(交通情報)がメモリーされています。

1 ISRボタンを押す



→受信バンドと受信周波数(**ISR 1620**)を表示します。

- ・ラジオ以外のモードからでも呼び出すことができます。

■ISRを解除するには…

もう1度、ISRボタンを押してください。

→元のモードに戻ります。

ISRにメモリーする

1 メモリーしたいラジオ局を選局する

- ・ラジオの選局については、23ページをご覧ください。

2 ISRボタンを押し続ける(約2秒間)

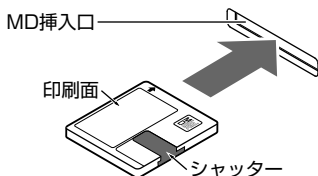


→ISRボタンにメモリーされます。

MDを聴く


MDを入れる

1 MD挿入口にMDを入れる



→MDを入れると、トラックNo.演奏時間(「01 00:01」)を表示して、自動的に演奏を始めます。

- MDは印刷面を上、シャッターを右側にして挿入してください。
- すでにMDが入っている場合は、入れられません。無理に入れないでください。

• 本機は  マーク表示の無いMDは使用できません。

- モノラルモードで録音されたMDは再生できません。

■ ディスク・イン・プレイ機能について...

本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーがONまたはACCであればMDを入れると、自動的に電源が入り、演奏をはじめます。

■ MDLPグループ機能について...

本機はMDLPグループ機能で編集されたMDを、そのグループ機能を利用してスキャン/ランダム/リピート演奏等を行うことができます。

詳しくは「MDLPを聴く」(30～31ページ)をご覧ください。

MDを取り出す

1 イジェクトボタンを押す



→MDがイジェクトされます。
イジェクトされたMDは、必ず取り出してください。

ご注意

- MDを挿入した直後にイジェクトすると、プレイ動作表示後に「MD ER6」を表示します。この状態ではMDを再挿入できませんので、イジェクトボタンを押してエラー表示を解除してください。

■ バックアップイジェクト機能について...

本機の電源が入っていない状態からでもイジェクトボタンを押すと、MDを取り出すことができます。

すでに入っているMDを聴く

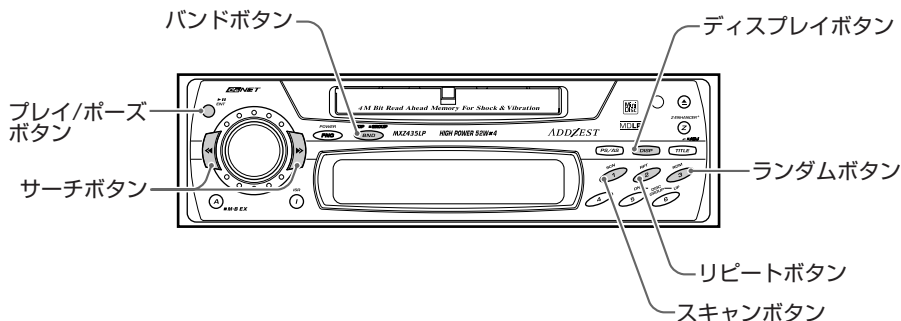
1 ファンクションボタンを押して、MDモードを選ぶ



→MDモードになると、トラックNo.演奏時間(「01 00:01」)を表示して、自動的にMDの演奏をはじめます。

- モードはファンクションボタンを押すたびに切り換わります。

MDを聴く



演奏を止める(一時停止)

1 プレイ/ポーズボタンを押す



→ディスプレイに「**PAUSE**」を表示します。

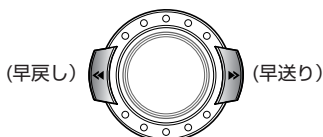
■演奏を再開するには

もう1度、プレイ/ポーズボタンを押してください。

早送り/早戻しする

1 早送りのときはサーチボタンの▶を押し続ける

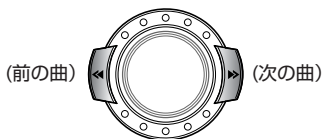
早戻しのときはサーチボタンの◀を押し続ける



→1秒以上押すと5倍速で、3秒後には30倍速で、演奏曲を早送りまたは早戻しします。

曲を選ぶ

1 次の曲はサーチボタンの▶を押す 前の曲はサーチボタンの◀を押す



→サーチボタンの▶を押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

サーチボタンの◀を押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときにサーチボタンの◀を2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

最初の曲から聴く(トップ機能)

トップ機能について…

ディスクの最初の曲(トラックNo.1)から演奏させる機能です。

1 バンドボタンを押す



→最初の曲(トラックNo.1)から演奏します。

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について…

MD内の全曲を10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押す



→ディスプレイに「**T-SCAN**」を表示し、演奏している曲の次の曲からスキャン演奏します。

■**スキャン演奏を解除するには**
もう1度、スキャンボタンを押してください。

→「**T-SCAN**」表示が消えて、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について…

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押す



→ディスプレイの「**RPT**」が点灯し、リピート演奏します。

■**リピート演奏を解除するには**
もう1度、リピートボタンを押してください。

→「**RPT**」が消灯し、通常の演奏になります。

ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ランダム演奏について…

MD内の全曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押す



→ディスプレイの「**RDM**」が点灯し、ランダム演奏します。

• グループ機能が「**ON**」のときには、演

奏中のグループ内の曲をランダム演奏します。

■**ランダム演奏を解除するには**
もう1度、ランダムボタンを押してください。

→「**RDM**」が消灯し、通常の演奏になります。

MDのタイトル表示を切り換える

1 タイトルが表示されているときに、ディスプレイボタンを押し続ける(約1秒間)



→押し続けるたびにディスクタイトルとトラックタイトルが切り換わります。

- MDLPの場合には、ディスクタイトル、グループタイトル、トラックタイトルを切り換えます。
- タイトルが入力されていないMDの場合には、次のように表示します。
ディスクタイトル：**D NO TITL**
グループタイトル：**G NO TITL**
トラックタイトル：**T NO TITL**
- 時計表示等に切り換えるときは、ディスプレイボタンを押してください。詳しくは「表示を切り換える」(20ページ)をご覧ください。

MDのタイトルをスクロールさせる

MDのタイトルスクロールについて…

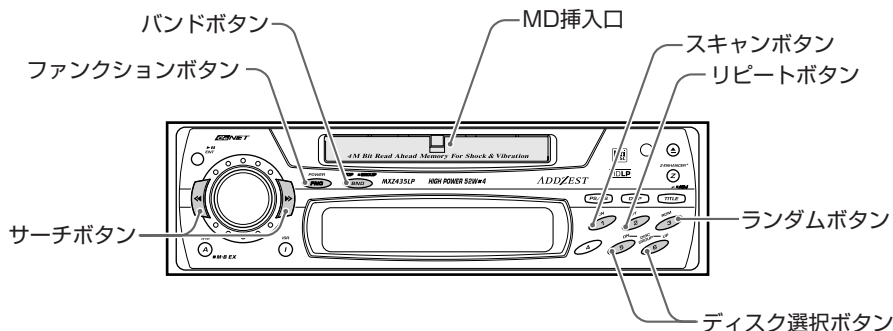
MD再生時に、ディスクに登録されているタイトルをスクロールすることができます。

1 タイトルが表示されているときに、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



→タイトルが左にスクロールします。
タイトルスクロールは、タイトルの末尾まで表示すると、最初の8文字表示に戻ります。

MDLPを聴く



この章では、MDLPグループ機能に関連する操作および注意事項等を説明します。その他の基本的事項については、前章の「MDを聴く」をご覧ください。

グループ機能をON/OFFする

MDLPグループ機能について…

本機はMDLPグループ機能で編集されたMDを再生時に、グループ機能を利用してスキャン/ランダム/リピート演奏等を行うことができます。

※初期設定は「ON」です。

1 ファンクションボタンを押して、MDモードにする



2 バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



→バンドボタンを押し続けるたびに、ON/OFFが切り換わります。

グループ機能を「ON」に設定すると、ディスプレイに「GRP ON」を表示します。

MDLPを演奏する

1 MD挿入口にMDLPを入れる

→ディスク情報の読み込み後、ディスプレイに「GROUP」を表示します。

グループ編集されていないMDの場合には、「NO GROUP」を表示します。

●グループ機能「ON」のとき

グループ順に演奏します。グループ化されていない曲(トラック)は最後にまとめて演奏します。

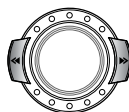
■グループの最初の曲を聴くには…
バンドボタンを押してください。



→再生中のグループの最初の曲から演奏します。

■グループ内で曲を選ぶには…

次の曲はサーチボタンの▶▶を、前の曲はサーチボタンの◀◀を押してください。



●グループ機能「OFF」のとき

通常のMDと同様に、最初の曲から演奏します。

グループを切り換える

1 ディスク選択ボタンを押す



聴きたいグループを探す (グループスキャン演奏)

グループスキャン演奏について…
グループの最初の曲を10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイに「**G-SCAN**」を表示し、演奏している曲の次のグループからスキャン演奏します。

- ・グループ化されていない曲は、一つのグループとしてまとめて扱われ、全てのグループの先頭曲が演奏された後に、その一番最初の曲がスキャン演奏されます。
- ・スキャンボタンを押したときは、通常のスキャン演奏になります。

■**スキャン演奏を解除するには**
もう1度、スキャンボタンを押してください。

→「**G-SCAN**」表示が消えて、通常の演奏になります。

1つのグループを繰り返し聴く (グループリピート演奏)

グループリピート演奏について…
演奏中のグループ内の曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイの「**DISC**」と「**RPT**」が点灯し、グループ内の曲をリピート演奏します。

- ・リピートボタンを押したときは、通常のリピート演奏になります。

■**グループリピート演奏を解除するには**

もう1度、リピートボタンを押し続けて(約1秒間)ください。

→「**DISC**」と「**RPT**」が消灯し、通常の演奏になります。

全グループの演奏をランダム に聴く(グループランダム演奏)

グループランダム演奏について…
MDLPIに収録されている全ての曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイの「**DISC**」と「**RDM**」が点灯し、グループランダム演奏します。

■**演奏中のグループ内の曲をランダム演奏するには…**

ランダムボタンを押してください。

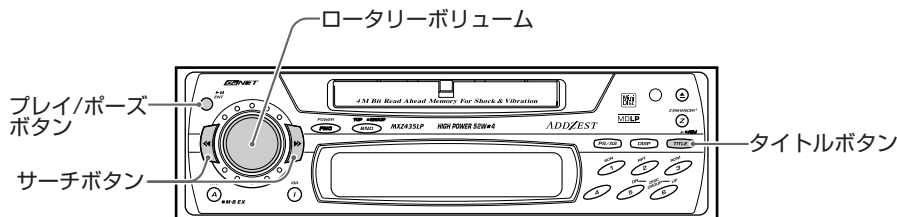
- ・グループ機能がOFFのときは、通常のランダム演奏となります。

■**グループランダム演奏を解除するには**

もう1度、ランダムボタンを押し続けて(約1秒間)ください。

→「**DISC**」と「**RDM**」が消灯し、通常の演奏になります。

設定を変更する(アジャストモード)



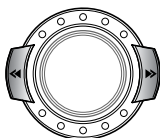
設定項目を選ぶ

- 1 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイに前回の調整項目(「**BEEP**」等)を表示して、アジャストモードになります。

- 2 サーチボタンの◀または▶を押して、設定する項目を選ぶ



・サーチボタンの◀または▶を押すたびに、設定項目が右図のように切り替わります。

- 3 プレイ/ポーズボタンを押して、調整内容を表示させて選ぶ
または、ロータリーボリュームを回して設定する



■元のモードに戻すには…

設定終了後に、タイトルボタンを押してください。

●アジャストモード設定項目

- **BEEP**
ビーブ音の設定
- ↕
- **SCROLL**
タイトルスクロールの設定
- ↕
- **AUX SENS**
携帯用オーディオ(AUX)の入力レベル設定
- ↕
- **TUNAREA**
チューナーエリアの設定
- ↕
- **TV AREA**
TVエリアの設定
- ↕
- **MAIN/SUB**
TV受信時の主音声/副音声設定
(TVチューナー接続時)
- ↕
- **TV DIVER**
TVタイパシティの設定
(TVチューナー接続時)
- ↕
- **CLOCK**
時刻の設定 (29ページ参照)
- ↕
- **SCRNSVR**
スクリーンセーバーの設定
- ↕
- **INPUT**
メッセージインフォメーションの入力

ボタン操作時のビープ音を設定する(BEEP)

ビープ音について…

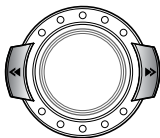
操作時になる「ピッ」という音をビープ音といいます。本機は、この音が鳴らないように設定できます。

※初期設定は、「ON」です。

- 1 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



- 2 サーチボタンの◀または▶を押して、「BEEP」を選ぶ



- 3 ロータリーボリュームを回して、「ON」または「OFF」を選ぶ



- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



タイトルスクロール方法を設定する(SCROLL)

タイトルスクロールについて…

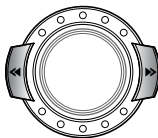
タイトルスクロールは、タイトルが表示文字数より長いときに、タイトルの末尾まで文字送りをして確認できる機能です。

※初期設定は、「SCRL ON」です。

- 1 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



- 2 サーチボタンの◀または▶を押して、「SCROLL」を選ぶ



- 3 ロータリーボリュームを回して、「SCRL ON」または「SCRL OFF」を選ぶ



SCRL ON : スクロールを繰り返します。

SCRL OFF : 選局操作等が行われて表示変化があったときに、一度だけスクロールします。

- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



■ 設定を変更する(アジャストモード)

携帯用オーディオの入力レベルを設定する(AUX SENS)

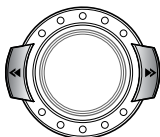
携帯用オーディオの入力(AUXモード)について…

本機に接続された市販のヘッドホンステレオ等の外部入力レベルを設定します。
※初期設定は、「**MID**」です。

- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする



- 2 サーチボタンの◀または▶を押して、「**AUX SENS**」を選ぶ



- 3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「**HIGH**」、「**MID**」または「**LOW**」を選ぶ



- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



TV受信時の主音声/副音声を設定する(MAIN/SUB)

主音声(MAIN)/副音声(SUB)について…

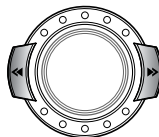
TV放送受信時の音声(主音声/副音声)を設定します。

※TVチューナーの初期設定は、「**TV MAIN**」です。

- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする



- 2 サーチボタンの◀または▶を押して、「**MAIN/SUB**」を選ぶ



- 3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「**TV MAIN**」/「**TV SUB**」を選ぶ



TV MAIN : 主音声を再生します。

TV SUB : 副音声を再生します。

- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



チューナーエリアを設定する (TUN AREA)

チューナーエリアについて…

チューナーエリア(ラジオを受信する地域)を選択すると、選局した周波数に対する放送局名を自動的に表示することができます。

※初期設定は、「コウイキ カントウ」(広域 関東)です。

イージーインプット機能について…

チューナーエリアを選択してから、プレイ/ポーズボタンを約2秒間押し続けると、選択したチューナーエリアの放送局名がユーザータイトルメモリー(**USER TTL**)へ登録されます。

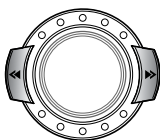
エリアは以下の11種類から選ぶことができます。

表示名	エリア名
USER TTL (ユーザータイトル)	タイトル入力された放送局名
サッポロ	札幌
トウホク	東北
コウイキ カントウ	広域 関東
コウイキ トウカイ	広域 東海
ホクリク	北陸
キンキ	近畿
チュウゴク	中国
シコク	四国
キュウシュウ	九州
オキナワ	沖縄

- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする



- 2 サーチボタンの◀または▶を押し、**TUNAREA**を選ぶ



- 3 プレイ/ポーズボタンを押す



→設定されているエリア名を表示します。

- 4 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、チューナーエリアを選ぶ



→ロータリーボリュームを回すたびに、エリアが切り換わります。

- 5 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



■ラジオの放送局にタイトルをつけるには…

「タイトルをつける」(39ページ)をご覧ください。

■ 設定を変更する(アジャストモード)

TVエリアを設定する (TV AREA)

テレビエリアについて…

テレビエリア(テレビを受信する地域)を選択すると、選局したチャンネルに対する放送局名を自動的に表示することができます。(TVチューナー接続時)

※TVチューナーの初期設定は、「カントウ」(関東)です。

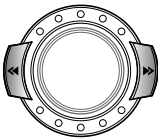
イージーインプット機能について…

テレビエリアを選択してから、プレイ/ポーズボタンを約2秒間押し続けると、選択したテレビエリアの放送局名がユーザータイトルメモリー(**USR TITL**)へ登録されます。

- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする



- 2 サーチボタンの◀または▶を押し、**「TV AREA」**を選ぶ



- 3 プレイ/ポーズボタンを押す



→設定されているエリア名を表示します。

- 4 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、TVエリアを選ぶ



→ロータリーボリュームを回すたびに、エ

リアが切り換わります。

エリアは以下の22種類から選ぶことができます。

表示名	エリア名
USR TITL (ユーザータイトル)	タイトル入力された放送局名
サッポロ	札幌
トウホクA	東北A
センダイ	仙台
トウホクB	東北B
フクシマ	福島
シンエツ	信越
カントウ	関東
シズオカ	静岡
トウカイチュウフ	東海中部
ホクリク	北陸
キンキ	近畿
サンイン	山陰
オカヤマ	岡山
サンヨウ	山陽
シコクA	四国A
シコクB	四国B
キュウシュウA	九州A
キュウシュウB	九州B
キュウシュウC	九州C
カゴシマ	鹿児島
オキナワ	沖縄

- 5 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



■TVの放送局にタイトルを付けるには…

「タイトルをつける」(39ページ)をご覧ください。

TVダイバーシティを設定する (TV DIVER)

TVダイバーシティについて…

TV放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。(TVチューナー接続時)

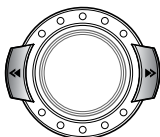
※初期設定は「**ON**」です。

TVダイバーシティアンテナを使用していないときは「**OFF**」に設定し直してください。

- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする



- 2 サーチボタンの◀または▶を押して、「**TV DIVER**」を選ぶ



- 3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「**ON**」または「**OFF**」を選ぶ



- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



スクリーンセーバーを設定する (SCRN SVR)

スクリーンセーバーについて…

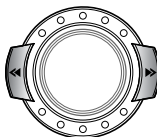
2種類のパターンからお好みの表示を選ぶことができます。

※初期設定は、「**SS**」です。

- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする



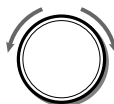
- 2 サーチボタンの◀または▶を押して、「**SCRN SVR**」を選ぶ



- 3 プレイ/ポーズボタンを押す



- 4 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、パターン名を選ぶ



→スクリーンセーバーは以下の2種類です。

SS : ADDZEST等を表示

MESSAGE

: メッセージインフォメーションで入力された文字をスクロール表示します。

OFF : パターンは表示しません。

- 5 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



■ 設定を変更する(アジャストモード)

メッセージを入力する(INPUT)

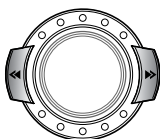
メッセージ入力について…

本機では英数カナ文字を使用して30文字まで入力することができ、この機能で入力したメッセージをスクリーンセーバーとして設定することができます。

- 1** タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする



- 2** サーチボタンの◀または▶を押して、「INPUT E」を選ぶ

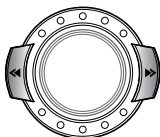


- 3** プレイ/ポーズボタンを押す

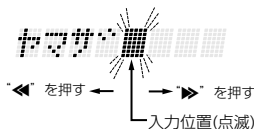


→メッセージ入力モードになります。

- 4** サーチボタンの◀または▶を押して、入力位置を決める



→点滅している文字位置が左右に移動します。



- 入力できる文字数は、30文字までです。

ご注意

- ノイズなどの原因によって、本機のマ

アイコンが誤動作したときなどに、リセットボタンを押すと、本機にメモリーされていたデータは全て消去されますのでご注意ください。

- 5** ディスプレイボタンを押して、文字の種類を選ぶ



• アルファベット大文字
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
• アルファベット小文字
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
• 数字/記号
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 , . ' : ; ! ? * # \$ % & ' + - × / = () < > " → ← ↑ ↓ ✕ ☆ ★ ♥ ♦ # ♪ ♫ ♫ ♫
• カタカナ
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト ナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリ ルレロワランアイウエオツヤユヨ。ー「」

- 6** ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、入力文字を決める



- 7** 手順4~6を繰り返して、メッセージを入力する

- ダイレクトボタンの1を押すと、入力中のタイトルを右側から表示または左側から表示します。
- バンドボタンを押すと、入力中のタイトルが全て消えます。

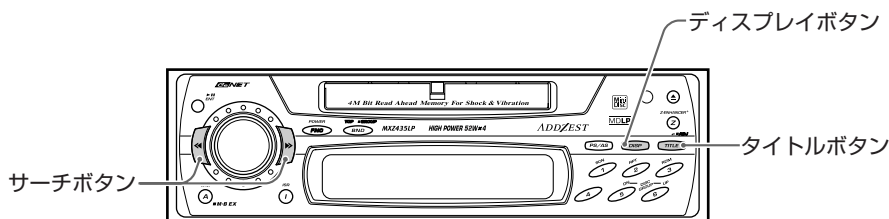
- 8** プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)



→タイトル表示部に「MSG MEMO」を表示してメモリーされます。

- プレイ/ポーズボタンを押したときは、メッセージ入力モードを終了し、元の状態に戻ります。

タイトルをつける



タイトルを入力する

タイトル入力について…

ラジオやTVの放送局やCDに8文字までのタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させることができます。(ラジオ、TV、CDチェンジャーモード時)

入力できるタイトル数は、次の通りです。

- ラジオ/TVモード : 30タイトル
- CDチェンジャーモード
 - DCZ625 : 60タイトル
 - CDR1255z : 50タイトル

1 ラジオ/TVモードの場合は、チューナーまたはTVエリアを「**USR TITL**」に設定する

- ラジオ/TVモードのエリアを「**USR TITL**」に切り換えるには、「チューナーエリアを設定する」(35ページ)、「TVエリアを設定する」(36ページ)をご覧ください。

2 タイトルをつけたいラジオ/TV局を受信する、またはCDを演奏する

3 ディスプレイボタンを押して、タイトル表示にする



- CDチェンジャーモードの場合は、タイトル表示に切り換えた後に、更にディスプレイボタンを約1秒間押し続

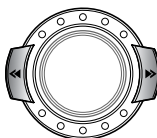
けてユーザータイトルに切り換えてください。詳しくは「表示を切り換える」(20ページ)をご覧ください。

4 タイトルボタンを押す



→タイトル入力モードになります。

5 サーチボタンの◀または▶を押して、入力位置を決める



→点滅している文字位置が左右に移動します。

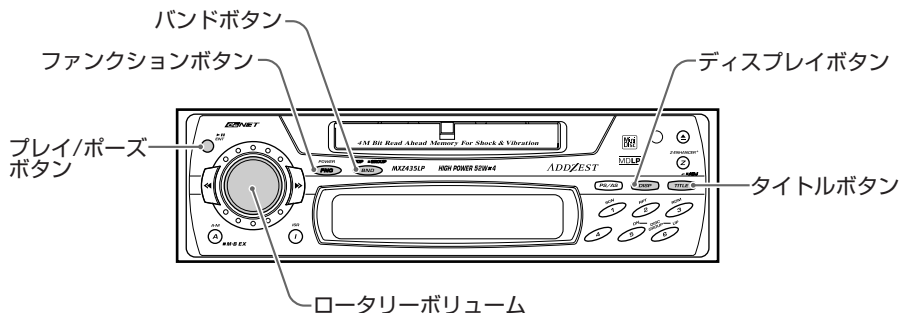
- 入力できる文字数は、8文字までです。

6 ディスプレイボタンを押して、文字の種類を選ぶ



- 入力できる文字の種類については前ページをご覧ください。

■ タイトルをつける



- 7** ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、入力文字を決める



- 8** 手順5～7を繰り返して、タイトルを入力する

- バンドボタンを押すと、入力中のタイトルが全て消えます。

- 9** プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)



→ピーと鳴ってタイトル表示部に「**TITLE MEMO**」を表示し、タイトルがメモリーされます。

■ タイトル表示を時計等の表示に切り換えるには…

ディスプレイボタンを押してください。



■ タイトルメモリーがいっぱいになると…

- ラジオ局タイトルの場合
プリセットチャンネルとISRにメモリーされていないタイトルを自動的に

消去して新しいタイトルをメモリーします。

- ディスクタイトルの場合
演奏回数の少ないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。

タイトルを削除する

- 1 ファンクションボタンを押してモードを選ぶ(ラジオ、TVまたはCDチェンジャー)



- 2 削除したいタイトルのラジオ/TV局を受信するまたはCDを演奏する

- 3 ディスプレイボタンを押して、タイトル表示にする



- 4 タイトルボタンを押す



→表示されているタイトルの1文字目が点滅して、タイトル入力表示になります。

- 5 バンドボタンを押す



→タイトルが消えます。

- 6 プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)



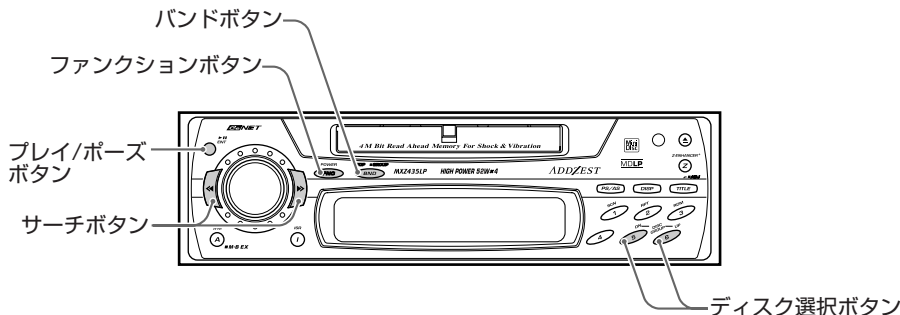
→タイトルが削除され、「**NO TITLE**」(ラジオモード時)を表示します。

■ **タイトル表示を時計等の表示に切り換えるには…**

ディスプレイボタンを押してください。



CD/MD/DVDチェンジャーを操作する



CD/MDチェンジャーについて…

別販のCeNET結線対応のCD/MDチェンジャーを接続すると、本機でCD/MDチェンジャーをコントロールすることができます。CeNET結線対応のCDチェンジャーとMDチェンジャーを合わせて2台まで接続できます。

DVDチェンジャーについて…

別販のCeNET結線対応のDVDチェンジャーを接続すると、本機でDVDチェンジャーをコントロールすることができます。また、DVDを見るためには、別販のモニターが必要です。

- 本機による操作・表示は簡易的なものであり、DVDチェンジャーの全機能には対応していません。DVDチェンジャーの操作は、DVDチェンジャーに付属のリモコンを使用して操作をします。詳しくは、DVDチェンジャーに付属の「取扱説明書」をご覧ください。

チェンジャーモードを選ぶ

- 1 ファンクションボタンを押して、チェンジャーモードを選ぶ



→チェンジャーモードになると、自動的に演奏が始まります。(接続していない機器のモードは表示されません。)

ラジオ→MD→(CDチェンジャー)→(MDチェンジャー)
↑
AUX←(TV)←(DVDチェンジャー)←

■2台のCD(またはMD)チェンジャーを接続したときは…

ファンクションボタンを押して、接続したチェンジャーを選択してください。

→ファンクションボタンを押すたびに切り換わります。)

- DVD/CDチェンジャーにマガジンが入っていないときは「**NO MAG**」、マガジン内にCDが入っていないときには、「**NO DISC**」と表示します。
- MDチェンジャーにMDが入っていないときは、「**NO DISC**」と表示します。
- タイトル表示については、「表示を切り換える」(20ページ)をご覧ください。

聴きたいディスクを選ぶ

1 ディスク選択ボタンを押す

(前のディスク)  (次のディスク) 

→ディスプレイのディスクNo.が点滅して、演奏を始めます。

- MDまたはマガジンにディスクが入っていない場合は、そのボタンを押しても受け付けません。

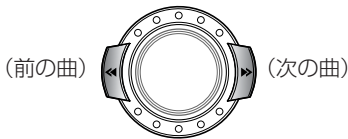
■ 12枚CDチェンジャー接続時に、7～12のディスクを選ぶには…

バンドボタンを約1秒間押し続けて、マガジンを切り換えてください。

曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、サーチボタンの▶を押す

前の曲を聴くときは、サーチボタンの◀を2回押す



→サーチボタンの▶を押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

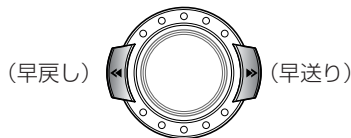
サーチボタンの◀を1回押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときにサーチボタンの◀を2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

早送り/早戻しする

1 早送りするときは、サーチボタンの▶を押し続ける

早戻しするときは、サーチボタンの◀を押し続ける



演奏を止める(一時停止する)

1 プレイ/ポーズボタンを押す



→タイトル表示部に「PAUSE」を表示します。

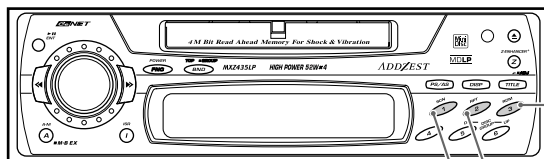
■ 続けて演奏を聴きたいときには…
もう1度プレイ/ポーズボタンを押してください。

最初の曲から聴く(トップ機能)

1 バンドボタンを押す



■ CD/MD/DVDチェンジャーを操作する



ランダムボタン

リピートボタン

スキャンボタン

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について…

チェンジャー内のディスク全曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押す



→ディスプレイに「**T-SCAN**」を表示して、演奏している曲の次の曲からスキャン演奏をします。

■ スキャン演奏を解除するには…

もう1度スキャンボタンを押してください。

→ディスプレイの「**T-SCAN**」表示が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

聴きたいディスクを探す(ディスクスキャン演奏)

ディスクスキャン演奏について…

チェンジャー内の全ディスクの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイに「**D-SCAN**」を表示して、演奏しているディスクの次のディスクからディスクスキャン演奏をします。

■ ディスクスキャン演奏を解除するには…

もう1度スキャンボタンを押してください。

→ディスプレイの「**D-SCAN**」表示が消え、いま演奏しているディスクから通常の演奏になります。

1 曲を繰り返し聴く (リピート演奏)

リピート演奏について…

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押す



→ディスプレイの「**RPT**」が点灯し、「01 00:01」を表示して、リピート演奏をします。

■ **リピート演奏を解除するには…**
もう1度リピートボタンを押してください。

→ディスプレイの「**RPT**」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

ランダムに演奏を聴く (ランダム演奏)

ランダム演奏について…

演奏中のディスクの全曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押す



→ディスプレイの「**RDM**」が点灯し、「01 00:01」を表示して、ランダム演奏をします。

■ **ランダム演奏を解除するには…**
もう1度ランダムボタンを押してください。

→ディスプレイの「**RDM**」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

1 枚のディスクを繰り返し聴く (ディスクリピート演奏)

ディスクリピート演奏について…

演奏中のディスクを繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイの「**DISC**」と「**RPT**」が点灯し、「01 00:01」を表示して、ディスクリピート演奏をします。

■ **ディスクリピート演奏を解除するには…**

もう1度リピートボタンを押してください。

→ディスプレイの「**DISC**」と「**RPT**」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

全ディスクの演奏をランダム に聴く(ディスクランダム演奏)

ディスクランダム演奏について…

チェンジャー内のディスクの曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押し続ける(約1秒間)



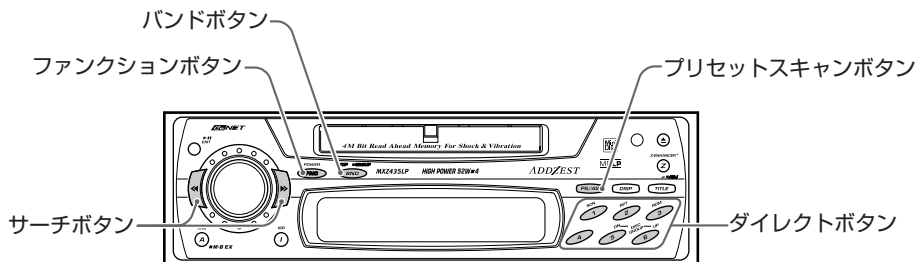
→ディスプレイの「**DISC**」と「**RDM**」が点灯し、「01 00:01」を表示して、ディスクランダム演奏をします。

■ **ディスクランダム演奏を解除するには…**

もう1度ランダムボタンを押してください。

→ディスプレイの「**DISC**」と「**RDM**」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

TVを見る



TVチューナーコントロール機能について…

別販のCeNET結線対応のTVチューナーを接続すると、本機でTVチューナーをコントロールできます。また、TVを見るためには、別販のモニターが必要です。

⚠ 警告

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車してください。

ご注意

ご使用になる前に、次の項目を確認して設定を変更してください。

- TVダイバーシティアンテナを使用しないときは、「TVダイバーシティを設定する」(37ページ)で、設定を「OFF」にしてください。
- 受信地域内の放送局名を表示させたいときは、「TVエリアを設定する」(36ページ)で受信エリアを設定してください。

TVモードを選ぶ

- 1 ファンクションボタンを押して、TVモードを選ぶ



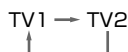
→押すたびに、モードが変わります。

受信バンドを切り換える

- 1 バンドボタンを押してTV 1またはTV2を選ぶ



→押すたびに、次のようにモードが切り換わります。



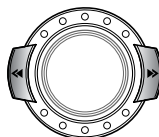
自動選局する(シーク選局)

- 1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイの「MANU」が消灯すると、自動選局ができます。

- 2 サーチボタンの◀または▶を押す



→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

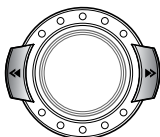
- 1** 「MANU」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)

TOP #GROUP

BND

→ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

- 2** サーチボタンの◀または▶を押して、放送のあるところに合わせる



プリセット選局する

プリセット選局について…

あらかじめメモリーしてあるチャンネルを選局する機能です。

- 1** ダイレクトボタンを押して、聴きたい放送局を選ぶ



→ディスプレイに受信周波数とプリセットNo.を表示します。

■放送局名表示に切り換えるには…
ディスプレイボタンを押してください。
詳しくは、「表示を切り換える」(20ページ)をご覧ください。

ご注意

ダイレクトボタンを押し続け(約2秒間)ないでください。押し続けるとプリセットメモリーとなり、受信中の放送局をメモリーします。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…

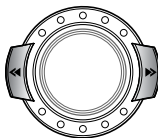
プリセットメモリーできるのは、TV1、TV2各6局、合計で12局です。

- 1** バンドボタンを押して、メモリーしたいバンド(TV1またはTV2)を選ぶ

TOP #GROUP

BND

- 2** サーチボタンの◀または▶を押して、メモリーしたい放送局を選ぶ



- 3** メモリーさせたいダイレクトボタンを押し続ける(約2秒間)



→押し続けると「ピー」と鳴り、その時、押したダイレクトボタンに登録されます。

自動メモリーする (オートストア機能)

オートストア機能について…

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

- 1** プリセットスキャンボタンを押し続ける(約2秒間)

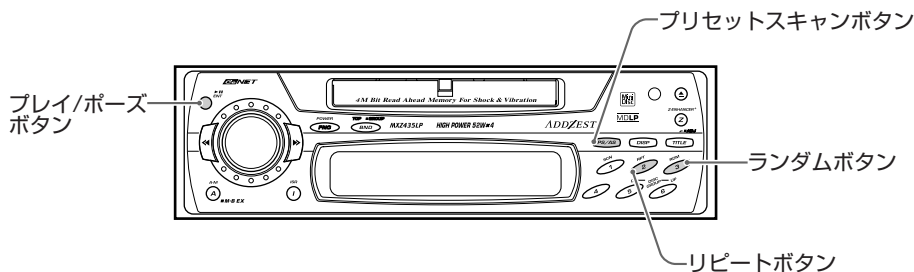
PS/AS

→ディスプレイに「A STORE」を表示し、自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

- 自動的に、受信感度の良い放送局がダイレクトボタン(1~6)に登録されていきます。

次ページに続く➡

■ TVを見る



ご注意

- 自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- 登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。

放送を確かめる (プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて…

プリセットスキャンは、ダイレクトボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。

1 プリセットスキャンボタンを押す



→ディスプレイに「**P SCAN**」を表示しプリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

- メモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

スキャンボタンを押し続けると(約2秒間)、オートストア機能になります。ご注意ください。

■ プリセットスキャンを解除するには…

もう1度、プリセットスキャンボタンを押してください。

→プリセットスキャンボタンを押したときに受信していた放送局を受信します。

ステレオ/モノラル音声を切り換える

- 1 プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約1秒間)



→押すたびに、ステレオ音声(STEREO)とモノラル音声(MONO)を切り換えます。

ビデオを見る

この機能は、TVチューナーにビデオ機器が接続されているときに操作できません。

- 1 TVモード時にプレイ/ポーズボタンを押す



→ディスプレイに「**VTR**」を表示し、TVモードからVTRモードに切り換わります。

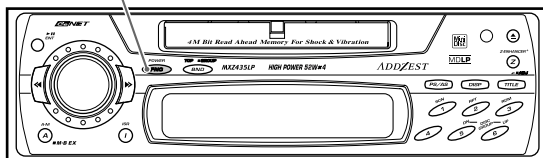
- TV画面がビデオ入力状態となり、ビデオを見ることができます。

■ TVモードに戻すには…

もう1度、プレイ/ポーズボタンを押してください。

その他の外部機器を操作する

ファンクションボタン



携帯用オーディオを聴く (AUXモード)

AUXモードについて…

本機に市販のヘッドホンステレオなどを接続して音楽ソースを聴くことができます。

別販のCeNET結線対応AUX入力ユニット(EA-1155A)は接続できません。

1 ファンクションボタンを押して、 AUXモードを選ぶ



→押すたびに、次のように切り換わります。AUXモードになると、接続された携帯用オーディオのプレイ操作で、再生されます。

ラジオ→MD→(CDチェンジャー)→(MDチェンジャー)
↑
AUX←(TV)←(DVDチェンジャー)←

■入力レベルを調整するには…

「携帯用オーディオの入力レベルを設定する」(34ページ)をご覧ください。

■AUX入力の接続のしかた

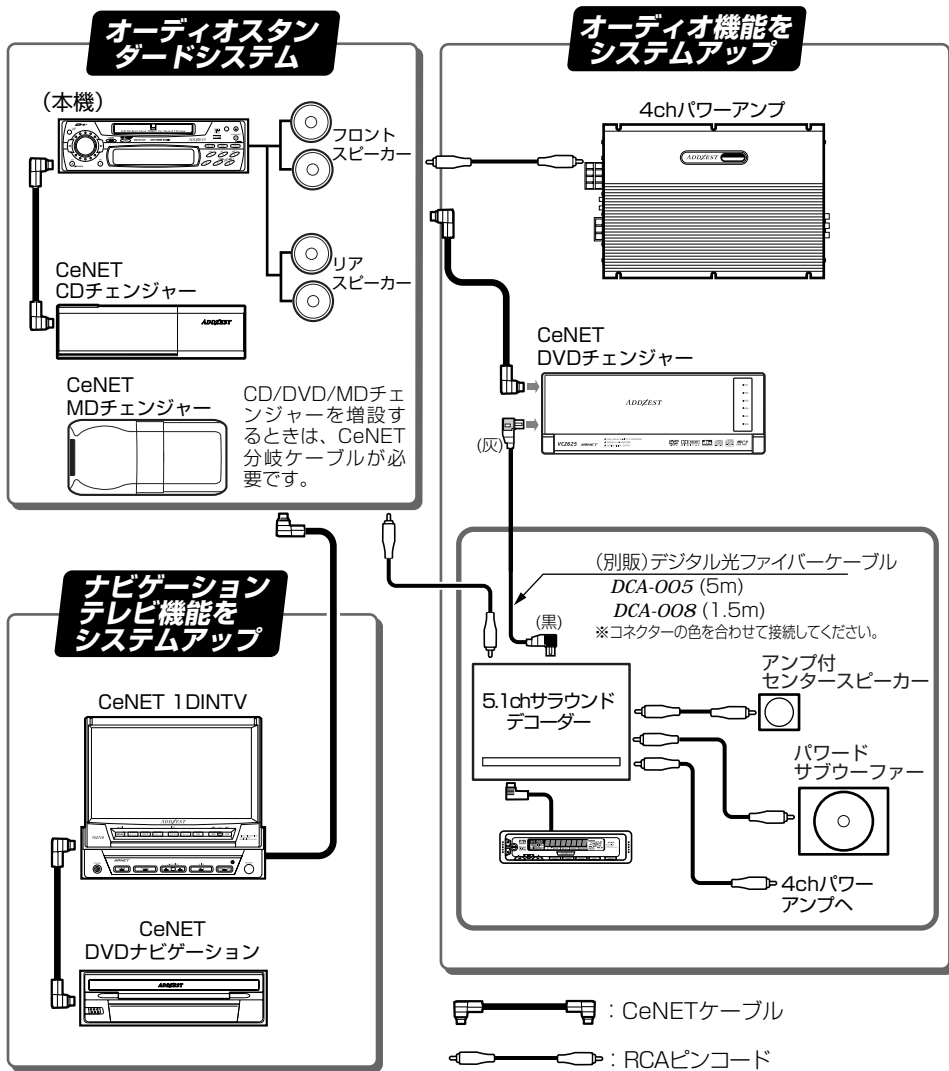
本機のAUX入力RCAピンコードへ市販のコードを使用して、携帯用オーディオを接続してください。

システムアップについて

本機は**CeNET** マークのついている外部機器を接続することにより、様々なシステム拡張を行うことができます。

以下のシステムアップ例は本機に接続できる機器の概要を示しています。接続可能モデルおよびそれに必要なCeNETケーブル等の詳細につきましては、販売店あるいは弊社お客様相談室にお問い合わせください。

また、接続についての詳細は、ご購入商品に付属の取付説明書をご覧ください。



その他

CeNETケーブルについて

CeNET接続ケーブルの最大配線長は、20m以下(CeNET分岐ケーブルCCA-519含む)です。接続の際は、下表をご参照のうえ、配線長が20mを越えないように、注意してください。

■CeNET接続ケーブル長一覧表

CeNETケーブル同梱機種	ケーブル長
CeNET DVDチェンジャー	5m<オス⇄オス>
CeNET MDチェンジャー	5m<オス⇄オス>
CeNET CDチェンジャー	5m<オス⇄オス>
5.1chサラウンドデコーダー	5m<オス⇄オス>
オーディオコントロール付TEL-LINKユニット	2.5m<オス⇄オス>

別販CeNETケーブル	ケーブル長
CCA-519 (CeNET分岐ケーブル)	1m<オス×2⇄メス>
CCA-520 (CeNET延長ケーブル)	2.5m<オス⇄メス>
CCA-521 (CeNET延長ケーブル)	0.6m<オス⇄メス>

<>内は、コネクタの形状を表しています。

故障と思われる前に

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう1度次のことをお調べください。

	現 象	原 因	処 置
共通	電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプ等接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプ等について、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	リセットボタンを、細い棒などで約2秒間押してください。 リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリー等が全て消えますので、もう一度設定し直してください。
ラジオ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。
MD	MDを入れても音が出ない、またはMDがすぐ出してしまう	MDを間違った向きに入れている	MDの印刷面を上、シャッター板を右側にして入れてください。
	MDが入らない	本機の中にMDが入っている	イジェクトボタンを押してMDを取り出してから、MDを入れてください。
	MDがイジェクトできない	極端な電源変動などによる誤動作または機構の誤動作	
その他	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「エラー表示について」を参照して、内容を確認してください。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。

障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

エラー表示		原因	対処方法
MDモード	ERROR2	MDデッキのメカが故障しているときの表示	MDデッキのメカニズムの故障とされます。お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	MDデッキ内のMDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないMDと交換してください。
	ERROR6	ブランクディスク(無録音)を入れたときに表示し、MDをイジェクトします	録音されたMDと交換してください。
	ERROR H	MDデッキの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	MDデッキの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください
CDチェンジャー	ERROR2	CDチェンジャー内のCDがローディングできないときの表示	CDチェンジャーのメカニズムの故障とされますので、販売店にご相談ください。
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないディスクと交換してください。
	ERROR6	マガジン内のディスクを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れた時の表示	録音されているディスクと交換してください。
MDチェンジャー	ERROR2	MDチェンジャー内のメカが故障しているときの表示	販売店にご相談ください。
	ERROR3	MDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないMDと交換してください。
	ERROR6	ブランクディスク(無録音)を入れた時の表示	録音されたMDと交換してください。
	ERROR H	MDチェンジャーの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	MDチェンジャーの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください。
DVDチェンジャー	ERROR2	DVDチェンジャー内のディスクがローディングできないときの表示	DVDチェンジャーのメカニズムの故障とされますので、販売店にご相談ください。
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないディスクと交換してください。
	ERROR6	マガジン内のディスクを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れた時の表示	録音されているディスクと交換してください。
	ERROR P	パレンタルレベルエラー	パレンタルレベルを正しく設定してください。
	ERROR R	リージョンコードエラー	リージョンコードの正しいディスクを入れてください。

仕様

■ MDプレーヤー部

周波数特性 : 20Hz~20kHz \pm 2dB
SN比 : 90dB
ダイナミックレンジ : 85dB
高調波ひずみ率 : 0.01%(1kHz)

■ FMチューナー部

受信周波数 : 76.0MHz~90.0MHz
実用感度 : 9dBf(IHF)
50dBクワイティング感度 : 18dBf(IHF)
SN比 : 70dB(IHF \cdot A)
周波数特性 : 30Hz~15kHz
分離度 : 35dB(1kHz)
高調波ひずみ率(ステレオ) : 0.4%(1kHz)

■ AMチューナー部

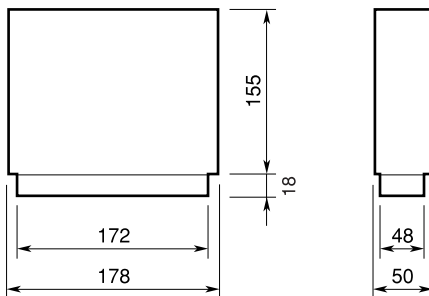
受信周波数 : 522kHz~1,629kHz
実用感度 : 28dB(μ V)
SN比 : 50dB

■ オーディオ部

定格出力 : 17W \times 4
(20Hz~20kHz、1%、4 Ω)
最大出力 : 52W \times 4
トーンコントロール :
BASS \pm 15dB(60Hz/100Hz/200Hz)
TREBLE \pm 12dB(10kHz/15kHz)
適合スピーカーインピーダンス : 4 Ω (4~8 Ω)
マグナバスEX : +10dB(50Hz)
ラインアウト出力レベル : 1.8V

■ 共通部

電源電圧 : DC14.4V
接地方式 : マイナス接地
消費電流 : 3.0A(1W出力時)
ヒューズ定格 : 15A
外形寸法 : 178(W) \times 50(H) \times 173(D)mm
[取付寸法 : 155(D)mm]
質 量 : 1.5kg



■ 付属品

- 取扱説明書 1部
- 取付説明書 1部
- 修理相談窓口リスト 1部
- 保証書 1部
- 電源コード 1本
- サラネジ(M5 \times 8) 4本
- セムス六角ボルト() 5本
- リードクランプ() 1本

※ これらの仕様およびデザインは、改善のため予告なく変更する場合があります。

ドルビーラボラトリーズライセンシング
コーポレーションの米国及び外国特許に
基づく許諾製品

アフターサービスについて

■ 保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■ 保証期間

お買い求めの日より1年間です。

■ 万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。

お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■ 保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

クラリオン株式会社

本 社 〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2
お客様相談室 フリーダイヤル 0120-112-140(土・日・祝祭日を除く、
9:00～12:00、13:00～17:30)

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

お客様へ……ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、
お問い合わせ等のときに便利です。